

ELLE DECOR

JAPAN

THE WORLD'S
LEADING
DESIGN & LIFESTYLE
MAGAZINE

www.elle.co.jp/decor/



Magazine Cloud
電子版でも読めます

ホテル、ショップ、レストラン

インテリアを巡る旅

TRAVEL & INTERIOR

ホームパ男の
デザインアイテム

灯りと香りで心地よく

サステナブル現在形

No.158
DECEMBER
2018
エル・デコ

12

3

背中光を感じる、静かな時間

さんさんと輝く太陽の光を取り入れる窓のそばに小さな椅子を置き、背中で太陽のぬくもりを感じながらゆったりとした時を過ごせば、何物にも代えがたい。サマーランドのゲストハウスでは、イタリアのメーカー、オスカー・マステララのベンチ「カバリト・ブランコ・ピッコロ」を使用している。



2

アートを感じさせるコーナーづくり

何かと殺風景になりがちな部屋の一角や壁際には、ベンチやコンソールなどを置いて、お気に入りのアイテムで印象づける。この部屋ではエトトレ・ソットサスがイタリアのビトッシから発表した「ダブル・ボウル」とニューヨークのマテリアの照明「ループ・スコンス」を組み合わせている。



豊かな環境と呼应する、厳選されたインテリア

豊かな自然とスペイン風の美しい街並みで知られるアメリカ西海岸のサンタバーバラ。その郊外、サマーランドに今年8月、新たなホテル「ガルド・ハウス」がオープンした。

このホテルのオーナーカップル、スコッティ・シッツとジョン・デヴィッドソンは、多くのセレブリティを顧客に持つインテリアショップ「ガルド」をロサンゼルスで運営。厳選したデザインをいかにして暮らしのなかに取り入れたいと考えて作り上げたのが、このサマーランドの2号店に併設したゲストハウスだった。

ふたりは1921年に建てられた牧歌的な農家の納屋を全面的に改装。壁や床を白で統一したシンブルな空間のなかに、アパラタス、フェイト・トゥーゲッド、グビ、ワイクステッドなど、現代的なデザインアイテムが美しく映える。洗練されておりながらも、心地よくゆったりとしたムードを感じるのも、「ガルド・ハウス」の魅力だ。彼らは、デザイン性のみならず、一帯に広がるのどかな風景、風によくよく緑と家の中が呼应するようにインテリアを選び抜いたと言う。

「このエリアは、温暖で気候も安定しているので、外で過ごす時間が自然と多くなります。だから家の中にも、屋外にいるような開放感と心地よさが必要。これこそが「カリフォルニア・リビング」のあり方なんです」

HOTEL SUMMER LAND

GARDE HOUSE

ガルド・ハウス

ハイセンス&開放的なカリフォルニア・リビング

まるでデザインギャラリーのようなエアビーエヌビーは、インテリアショップオーナーが運営。部屋の家具やアクセサリは、1階のショップで扱うデザイナーやプロダクトを紹介するために約6カ月ごとに模様替え。

2280 Lillie Avenue Summerland, CA 93067 USA
<https://oriole-magnolia-tchj.squarespace.com/>

1

窓の風景と響き合うピンクベルベットの光沢

ベッドルームの窓際に置かれているのはデンマークのブランド、グビの「ステイ・ソファ」。ベルピンクのベルベットの張り地は、心を和ませる感触とともに、格子のガラス窓を通して差し込む外光に照らされ、美しく深い光沢を見せる。



CALIFORNIA LIVING

カリフォルニアを満喫するハイセンスなアパートメント

アメリカ西海岸、サンタバーバラ郊外のサマーランドにオープンした、L.A.の人気セレクトショップ「ガルド」の2号店。併設するエアビーエヌビーは、カリフォルニアの恵まれた気候によく似合う、開放的で現代的なインテリアに出会える。

1階は、ヒントがいっぱい詰まったギャラリーショップ



Scotti Sitz & John Davidson

スコッティ・シッツ & ジョン・デヴィッドソン

ファッション界で活躍したスコッティ・シッツが、2012年にロサンゼルスにショップ「ガルド」をオープン。現在はパートナーのジョン・デヴィッドソンと共にショップ2軒とホテルを運営。

新鋭のデザイナーの活動に目を光らせているというオーナーは「ガルド・ハウス」の一階でショップ「ガルド」の2号店を運営。ショップのために仕入れたアイテムを上階の客室にも反映させるため、半年ごとにインテリアが入れ替わっているという。1 オーガニックなフォルムとムク材と真ちゅう、そしてホワイトを基調としたセレクトションが広々とした空間にゆったりと展示されている。2 3 ショップの至るところに動物のオブジェが置かれており、気分を和ませてくれる。写真右の木ボックスは、ロサンゼルス在住のアーティスト、アザディ・シュラドフスキーの作品。4 特徴的な脚の形をしたテーブルは、ドイツのブランド、ダンテ・グッス&パズスの「バヴァレスク・オーバル・テーブル」。大胆な形のなかに、繊細で心温まる素材の魅力をうまく残している作品が多く見られる。

4

クリーンな空間のなかに
個性的なアイテムを

自然光がたっぷり差し込むリビングルームには、白い空間に映えるガルドハウスの白いソファ、CCタピスのグレイッシュなラグを配して。ピンクのシープスキンが印象的なダンテのチェア「エル・サント・チェシャー」でさりげなく個性を反映。



5

ディテールまで
こだわりを貫く

キッチンの水栓金具はレフロイ・ブルックス、調理器具はジョン・ボーン、カトラリーはピート・ブーンのように、メインの家具だけでなく、部材やツールにまで手を抜かず、トータルでこだわることで、世界観が生まれる。

